

環 境 部

# 環境政策課

課長 伊佐治 修

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画進行管理
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

環境基本計画の実施状況を調査・審議する、有識者等による審議会を開催するとともに、進行管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 環境審議会  
環境基本条例のもと、環境審議会において計画の実施状況を調査・審議(令和元年度は、3回開催)
- 環境基本計画の進行管理  
第3次松本市環境基本計画を推進するため、各部局が実施する事業の進行管理を行い、施策に反映
- 職員研修  
環境行政を担う人材育成の一環として、環境省環境調査研修所が実施する研修会等に参加
- 第4次環境基本計画の策定準備  
第3次環境基本計画が令和2年度で終了することから、次期計画策定に向けて環境基本計画基礎調査報告書を作成

< 現状に対する認識 >

計画を効果的に進めるため、市民・事業者・行政が連携し積極的に取り組む必要がある。  
 ・第4次環境基本計画策定にあたり、市民・事業者・行政が連携して横断的に環境課題等に取り組むことができる施策を検討する。  
 ・各部局が進める環境施策の具体的な事業内容を把握し、PDCAサイクルによる適切な進行管理を継続して行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	環境基本計画の指標61項目のうち、目標の70%以上達成している項目数				
指標の設定理由	環境基本計画の進捗状況を示すため				
目標値	48	48	48	48	48
実績値	49	55	55	52	
達成度	102.1%	114.6%	114.6%	108.3%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	830		596		0		0		980	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	830		596		0		0		980	
人件費(千円)	6,152	人工	3,795	人工	3,775	人工	7,600	人工		人工
正規	6,152	0.8	3,795	0.5	3,775	0.5	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	6,982		4,391		3,775		7,600		980	
前年度比	-		62.9%		86.0%		201.3%		-	

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	地球温暖化防止事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み		新エネルギー戦略による経済と地域の活性化
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進		5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
				松本版総合戦略		再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地球温暖化防止事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H13 ~

深刻化する地球温暖化問題に対し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を促すとともに、効率的な運用によりエネルギー使用量の削減を図るため、各種施策を展開するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 地球温暖化対策実行計画推進事業  
地球温暖化対策実行計画(平成28年度改訂版)に基づき進行管理を行うとともに、エコネットまつもとの活動を支援
- 再生可能エネルギー地産地消推進事業  
再生可能エネルギー地産地消推進計画に基づき進行管理を行うとともに、市内事業者への情報提供等支援
- 温暖化対策に資する補助金の交付  
住宅用太陽光発電設備や蓄電池、省エネ設備への設置補助を行い、令和元年度は995件に86,671千円を交付した。
- 松本市役所エコオフィスプラン進行管理  
各課のCO2排出量や紙の使用量等を把握し指導を実施している。市の事務事業におけるCO2排出量は、現行プランの目標値を満足している。
- 木質バイオマス熱利用推進事業  
竜島温泉へ導入したチップボイラーの運用及び民間への普及啓発を実施
- 市施設低炭素化推進事業  
エネルギーを使用する市の全施設を対象とした調査検討の結果を踏まえ、松本市環境配慮型公共施設整備指針を策定
- 世界首長誓約/日本への署名  
令和2年1月、市長は世界首長誓約/日本へ署名し、パリ協定への目標達成に地域から貢献することを表明した。

< 現状に対する認識 >

松本市環境配慮型公共施設整備指針を反映した改修・改築を行い市施設の低炭素化を図る。また下水熱、地中熱などの未利用熱の利用促進を図るため、市施設への率先導入を検討する。  
これまで以上に地球温暖化の取組みを広く周知・啓発する必要がある。  
産官学民の主体をつなぎ、事業化に向けた協働を図るため、信大が進める(仮)松本地域再生可能エネルギー導入支援ネットワークの立ち上げを支援する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	再生可能エネルギーによる最大出力(固定価格買取制度導入容量)(kW)				
指標の設定理由	再生可能エネルギーによる発電設備の市域全体の導入量がわかるため				
目標値	82,474	90,356	98,237	106,119	114,000
実績値	86,862	92,460	104,076	104,264	
達成度	105.3%	102.3%	105.9%	98.3%	-
成果指標(指標名)	再生可能エネルギーを活用して事業を興す事業者				
指標の設定理由	再エネ産業の育成が再生可能エネルギー地産地消推進計画の基本方針の中にあるため				
目標値	0	1	2	3	4
実績値	0	1	1	1	
達成度	-	100.0%	50.0%	33.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	46,637		110,876		153,300		106,880		40,270	
国・県	1,501		9,942		44,570					
利用者負担金										
その他										
一般財源	45,136		100,934		108,730		106,880		40,270	
人件費(千円)	24,608	人工	22,770	人工	25,600	人工	25,780	人工		人工
正規	24,608	3.2	22,770	3	22,650	3	22,800	3		
嘱託	0	0	0	0	2,950	1	2,980	1		
非常勤										
合計コスト +	71,245		133,646		178,900		132,660		40,270	
前年度比	-		187.6%		133.9%		74.2%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	清掃業務管理(松塩地区広域施設組合負担金)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理のため、松塩地区広域施設組合に分担金を支出するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設(ラーラ松本)等の管理・運営業務料として、負担金を支払う。

1 令和元年度実績

(1) 松本クリーンセンターごみ搬入量(松本市分、可燃ごみのみ)  
77,562.56 トン

(2) あずさセンターし尿等投入量(松本市分)  
9,434.3 キロリットル

(3) ラーラ松本利用者数  
377,657 人

(4) 負担金  
1,136,768,202 円  
(内訳)建設費(積立金) 227,864,000 円  
建設費(償還金) 259,073,202 円  
管理運営費 649,831,000 円

2 新焼却炉の令和11年度供用開始を目指し、建設用地選定に関する調査を開始

< 現状に対する認識 >

一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理が行われていると認識  
ごみの減量化と生活排水の適正な管理を行うため、ごみ展開検査の実施、ごみ持ち込み時の排出元市町村の確認等、引き続き組合と連携して施策を実施していく。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,011,556		946,154		1,063,776		1,136,769		1,211,900	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,011,556		946,154		1,063,776		1,136,769		1,211,900	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,012,325		946,913		1,064,531		1,137,529		1,211,900	
前年度比	-		93.5%		112.4%		106.9%		-	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20 ~

廃棄物の適正な処理の促進及びごみ排出量の計画目標を達成するため、一般廃棄物処理計画の進行管理を行い、また、一般廃棄物処理実施計画を策定して、ごみ減量化施策を推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 一般廃棄物処理計画(2018~2027年度版)の進行管理  
松本市一般廃棄物処理計画を推進するため、各年度のごみ排出量を公表し、また、実施する事業の進行管理を行い、施策に反映
- 一般廃棄物処理実施計画策定  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎年度、実情に応じた一般廃棄物の処理に関する事項を定める実施計画を策定

< 現状に対する認識 >

ごみの総排出量は減少傾向にあるが、一般廃棄物処理計画に掲げる目標を達成できていないため、更なるごみ減量化施策の推進が必要である。特に、目標値に対して事業系ごみ排出量が超過しているため、紙類の搬入規制の徹底、展開検査の強化を行うとともに、ごみの組成調査を継続して本市のごみ排出の実態を捉え、事業形態別に効果的な排出指導に取り組む必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(単位:g/日)				
指標の設定理由	本事務事業は、ごみの減量を指向したものであるため。				
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980
実績値	1,042	1,039	1,009	1,024	
達成度	98.98%	98.96%	99.00%	98.97%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,413		6,997		7,781		6,836		0	
国・県	2,368		2,400		2,283					
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,045		4,597		5,498		6,836			
人件費(千円)	4,899	人工	12,722	人工	4,825	人工	4,858	人工		人工
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	285	0.1	578	0.2	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	11,312		19,719		12,606		11,694		0	
前年度比	-		174.3%		63.9%		92.8%		-	

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み			「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり	
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20 ~

松本市一般廃棄物処理計画の推進を図るため、「もったいない」をキーワードとして3R(リデュース・リユース・リサイクル)に係る事業を実施するもの。松本キッズ・リユースひろば事業については、ごみの減量化及び子育て支援を事業目的としている。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本キッズ・リユースひろば事業  
使用期間の短い子ども服や育児用品を地域づくりセンター等市内26カ所で無料回収し、必要としている子育て世帯に無料で配付(配付会を年間5回開催、延べ1,408世帯が参加)  
6回開催予定中、3月は、コロナウイルス感染拡大予防のため中止
- 不用食器リサイクル事業  
市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布(リユース)し、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う。市の役割として回収食器の運搬及び再資源化費の負担並びに事業のPR等を実施(食器の年間再資源化量 約17.2トン)
- 松本山雅3R推進デー事業  
市民の注目度の高い松本山雅FCのホームゲームにおいて、本市の協賛による「松本市3R推進スペシャルマッチ」を開催し、ピッチ内イベント、啓発動画放映、ブース出展等の様々な啓発を実施(令和元年度対象試合:横浜F.マリノス戦(11/23(土・祝)、来場者数19,744人、フードドライブ及びキッズリユース実践ブース協力者数150人)

< 現状に対する認識 >

・松本キッズ・リユースひろばについて、参加者の約9割がアンケートで満足と回答しており、リユースを通じて「もったいない」意識の醸成につながっている。なお、リユースに関する取組みは当該事業しかないため、安定した事業運営を図り、継続したい。  
・不用食器リサイクル事業について、再資源化量は安定しており、事業が浸透しつつあることがうかがえる。再資源化できる事業者が限られており、市民団体との協働事業であるため、現状の規模で事業を継続していきたい。  
・(松本山雅3R推進デー事業)R元年度に実施した際のアンケートで一定の成果が見られたことから、啓発内容を見直しつつ継続し、3Rや環境に配慮したライフスタイルの定着を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付重量(トン)				
指標の設定理由	本事業は、ごみの減量に向けた取組みであるため。				
目標値	7.0	12.0	12.0	12.0	12.0
実績値	13.0	15.1	15.9	12.1	
達成度	185.7%	125.8%	132.5%	100.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,413		6,997		7,781		9,215		0	
国・県	2,368		2,400		2,283		1,100			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,045		4,597		5,498		8,115			
人件費(千円)	5,184	人工	12,722	人工	5,120	人工	5,156	人工		人工
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	11,597		19,719		12,901		14,371		0	
前年度比	-		170.0%		65.4%		111.4%		-	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23 ~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制などを推進するため食品ロス削減事業等に取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取組みを進めるため、残さず食べよう！30・10運動を公報まつもとやSNS等で周知啓発
- 残さず食べよう！推進店・事業所認定制度  
令和元年度末認定数 推進店172店、98事業所 計270
- フードドライブ  
開催回数11回、寄贈食品数4,225個  
(3月は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止)
- 令和元年9月から、子ども食堂のニーズと余剰生鮮食品をマッチングした「フレッシュフードシェア」事業を開始
- 松本市食品ロス削減シンポジウム  
令和元年10月1日に施行された、食品ロス削減推進法で定められた、「残さず食べよう！30・10運動」に由来する「食品ロス削減の日(10月30日)」に向けて、市内の食品ロス削減の機運を高めるために、10月19日に、Mウイングで松本市食品ロス削減シンポジウムを開催

・令和2年度に、食品ロス削減推進法に基づき、計画的に取組みを推進するため、松本市食品ロス削減推進計画を策定する。  
 ・R元年度に実施した市民アンケート調査及び一般廃棄物組成・食品ロス調査の結果から、市民への認知度は上昇しているが、食品ロス削減量は十分とは言えないことから、より市民や事業者への実践を促す施策を実践していく。  
 ・各省庁や全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会の協力を得ながら、本市の取組事例などをイベント等で情報発信し、浸透・拡大を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数				
指標の設定理由	食品ロス削減の取組みの市民への広がりを示す指標であるため				
目標値	100	150	175	270	300
実績値	111	177	246	270	
達成度	111.0%	118.0%	140.6%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,894		11,912		3,046		4,641		3,300	
国・県	1,429		160		145		145		148	
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,465		11,752		2,901		4,496		3,152	
人件費(千円)	8,459	人工	14,240	人工	8,140	人工	8,196	人工		人工
正規	8,459	1.1	13,662	1.8	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	16,353		26,152		11,186		12,837		3,300	
前年度比	-		159.9%		42.8%		114.8%		-	



事務事業評価票

作成日 令和2年6月24日

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した取組みを行っている事業所を推進するため、ecoオフィスまつもと認定事業所として認定するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

第3次松本市環境基本計画に定める5つの柱において、事業者に望まれる取組みを推進するため、申請のあった事業所を環境に配慮した取組内容に応じて評価し、ecoオフィスとしてランク別に認定

- 新規認定事業所として3社認定 合計24社
- 優秀事業所として2社を表彰 累計4社
- チラシの配布、広報、ラジオ、セミナー等で周知
- 申請書類作成の負担軽減を図るため、様式の見直し

< 現状に対する認識 >

環境に配慮した事業所としての意識を高め、認定事業所として申請いただくため、引き続き積極的にPR活動を継続していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ecoオフィスまつもと新規認定事業所数				
指標の設定理由	環境に配慮した取組みを行っている事業所を示す指標の1つであるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	7	4	2	3	
達成度	140.0%	80.0%	40.0%	60.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		211		20		30		40	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		211		20		30		40	
人件費(千円)	769	人工	1,337	人工	1,345	人工	1,356	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	769		1,548		1,365		1,386		40	
前年度比	-		201.3%		88.2%		101.5%		-	

事務事業評価票

作成日 令和2年6月24日

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業(環境教育)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会や学習会、小中学校での環境学習、園児や小学生を対象とした参加型環境教育などを実施するなど環境負荷軽減に向けた活動を拡大するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 参加型環境教育事業  
園児と小学校3年生を対象に、ごみの分別や食べ残しをテーマにクイズ形式の参加型環境教育を実施(園実施数 53園、小学校実施数 28校)
- 食品ロス削減啓発用絵本の活用  
参加型環境教育事業の効果を継続させるために、H30年度に作成した食品ロスをテーマとした絵本「もったいないぞうのこさんぞう」を活用した読み聞かせ会を開催(参加者数 83名)
- エコスクール事業  
幅広い世代が参加できるように、自然体験や環境保全をテーマとした環境講座を実施するもの(講座開催数 18回、参加人数 延べ294人)
- 小中学校環境教育支援事業  
小中学校へ、環境分野の専門性を持つ企業・団体等が講師となる「環境学習プログラム」の紹介を行うもの(実施校数 17校、実施回数 42事業、参加人数 延べ2,365人)
- 子ども向け環境基本計画ハンドブックの配布  
小学校4年生に環境基本計画を解説したハンドブックを配布し、授業等で活用を推進するもの

<現状に対する認識>

参加型環境教育事業は、家庭への波及効果も高く、幼少期から環境教育を繰り返すことはより効果的。園や小学校の意見も取り入れて、より効果的なプログラムに見直ししていく。  
・エコスクールや環境教育支援事業は、豊かな自然環境や人的資源を生かした、「体験」を通じた「新たな発見」の機会を提供している。アンケート結果からわかる環境保全の意識の向上を、行動に繋げるプログラムを検討していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	園児を対象とした参加型環境教育の園児の意識変化の割合				
指標の設定理由	本事業は、環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	65	65	65	65	65
実績値	48.5	49.8	53.2	49	
達成度	74.6%	76.6%	81.8%	75.4%	-
成果指標(指標名)	エコスクール参加人数				
指標の設定理由	本事業は、幅広い世代対象の環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	330	330	330	330	330
実績値	367	322	410	294	
達成度	111.2%	97.6%	124.2%	89.1%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,353		2,643		4,688		906		960	
国・県	1,887				962					
利用者負担金										
その他										
一般財源	466		2,643		3,726		906		960	
人件費(千円)	10,454	人工	10,372	人工	10,370	人工	10,446	人工		人工
正規	8,459	1.1	8,349	1.1	8,305	1.1	8,360	1.1		
嘱託	1,995	0.7	2,023	0.7	2,065	0.7	2,086	0.7		
合計コスト +	12,807		13,015		15,058		11,352		960	
前年度比	-		101.6%		115.7%		75.4%		-	

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	災害廃棄物対策事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約 主な取組み	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化		
基本施策(個別目標)	321	危機管理体制の強化	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり	
			松本版総合戦略			

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	災害廃棄物対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~

近年、地震や水害が多く発生しており、早急に現実的かつ着実な災害廃棄物対策を進めていくことが求められていることから、平成30年度に策定した災害廃棄物処理計画を、より実効性の高い計画になるよう、適宜点検と見直しを行っていく。また、平時から市民の方に災害時のごみ処理について理解してもらうため周知啓発を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 災害廃棄物処理計画策定事業 【平成29年度～平成30年度】 環境省中部地方環境事務所の「平成29年度中部ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業」により、災害廃棄物処理計画を策定する上での基礎調査を実施 基礎調査の結果を基に、平成31年2月に松本市災害廃棄物処理計画を策定  【令和元年度】 災害時のごみ処理について記載した市民向けハンドブックを全戸配布 衛生協議会、防災部長等に対し研修を実施し周知・啓発を図る。 非常時優先業務マニュアルの中の災害廃棄物対策マニュアルを災害廃棄物処理計画の内容に沿って修正
--

< 現状に対する認識 >

策定した計画に基づき、必要となる対応を容易に把握し活用できるよう、被災後の職員行動マニュアルを、他自治体のマニュアル等を参考にしながら策定する。  
・災害廃棄物を適正かつ円滑に処理するためには市民の協力が必要不可欠であるが、全戸配布したハンドブックが十分浸透しているとは言えないため、引き続き出前講座等を実施し、周知啓発に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市で生活している中で感じる魅力・良さ「防災・減災対策」と回答した割合				
指標の設定理由	平時から災害廃棄物対策を意識してもらうことが重要であるため。				
目標値			2.7	2.7	2.7
実績値			2.7		
達成度			100.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		5,070		1,170		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					5,070		1,170			
人件費(千円)	0	人工	759	人工	6,040	人工	2,280	人工		人工
正規	0		759	0.1	6,040	0.8	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0		759		11,110		3,450		0	
前年度比	-		#DIV/0!		1463.8%		31.1%		-	

# 環境保全課

課長 中嶋 岳大

**事務事業評価票**

事務事業名	地下水対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	地下水対策事業

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >	事業計画年度	S60~
地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視するもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 市所有の3カ所(清水、島立、今井)の観測井で地下水水位を365日24時間連続測定
2 観測記録の集計整理 各井戸で測定した結果を集計、解析し、地下水保全対策の基礎資料とする。

< 現状に対する認識 >
・主に都市化を原因とする地下水のかん養量の減少により1990年代中頃まで地下水位の低下が続いたが、それ以降はほぼ横ばい。 ・地下水の保全に欠かせない常時観測であり、その結果を11市町村と県とで組織する「アルプス地域地下水保全対策協議会」で共有している。集計結果は流域全体にとっても健全な水循環を維持する施策の重要な基礎資料として役立っている。 ・松本市水環境を守る条例により、動力を用いて吐出口口径25ミリメートル以上の地下水採取施設による地下水採取に届出が必要なおから、無秩序な地下水採取を防いでいる。

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地下水位常時観測井戸数				
指標の設定理由	適切な観測場所を継続して監視するため。				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	399	392	392	1,370	300
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	399	392	392	1,370	300
人件費(千円)	2,307	2,277	2,265	2,307	
正規	2,307	2,277	2,265	2,307	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	2,706	2,669	2,657	3,677	300
前年度比	-	98.6%	99.6%	138.4%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	家庭雑排水対策
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	家庭雑排水対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公共用水域の水質保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 合併処理浄化槽設置整備事業  
 公共下水道処理区域外地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するもの。公共下水道に接続する場合と比較して合併浄化槽を設置した世帯の負担が高くないように、国、県、市で補助するもの  
 令和元年度実績 9基 6,880千円
- 2 合併処理浄化槽清掃事業  
 法令で定められた浄化槽清掃を行う者に対し、年1回に限り補助金を交付するもの。設置と同様に公共下水道接続施設の世帯と比較した場合の経済的負担を軽減するもの  
 令和元年度実績 236基 4,030千円
- 3 家庭雑排水簡易浄化槽汚泥清掃事業  
 家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金負担を軽減するもの  
 令和元年度実績 571件 680千円

< 現状に対する認識 >

家庭雑排水の適正処理をより推進するため、今後も事業を継続していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	家庭雑排水適正処理の指標として				
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%
実績値	98.7%	99.0%	99.2%	98.9%	
達成度	100.6%	100.8%	100.7%	100.3%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	13,631	13,993	11,031	6,873	6,800
国・県	4,720	5,629	3,430	2,319	4,520
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,911	8,364	7,601	4,554	2,280
人件費(千円)	3,691	3,643	3,624	3,648	
人工	0.48	0.48	0.48	0.48	
正規	3,691	3,643	3,624	3,648	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	17,322	17,636	14,655	10,521	6,800
前年度比	-	101.8%	83.1%	71.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	四賀地域排水施設管理
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地域排水施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公共下水道処理区域外における、公共用水域の水質保全のため。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 四賀第2・第3浄化施設維持管理事業  
四賀地区で宅地分譲した団地の汚水を適正に集合処理するため、大型の合併処理浄化槽で維持管理を行うもの
- 施設概要  
四賀第2浄化施設(五常) 井刈団地 80人槽  
四賀第3浄化施設(反町) 反町団地 100人槽

< 現状に対する認識 >

汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設利用率				
指標の設定理由	対象世帯の施設利用により、公共用水域の水質を保全するため				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,704		1,788		2,236		2,391		2,190	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,704		1,788		2,236		2,391		2,190	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,089		2,168		2,614		2,771		2,190	
前年度比	-		103.8%		120.6%		106.0%		-	

# 事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(長野県合併処理浄化槽普及促進協議会)
-------	------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

合併処理浄化槽の設置を推進するため、行政機関で構成する団体の一員として合併処理浄化槽の普及・啓発活動を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 協議会の概要
会員数 65市町村
負担割合
ア 市(5万人以上) 41,000円
イ 市(5万人未満) 25,000円
ウ 町村 16,000円
2 主な活動
研修会の開催、補助枠拡大のため国・県への要望活動、参考書籍の配布

< 現状に対する認識 >

・合併処理浄化槽の設置を推進するため、今後も活動を継続していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	合併処理浄化槽設置により向上する、家庭雑排水の適正処理率を指標とした。				
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%
実績値	98.7%	99.0%	99.2%	98.9%	
達成度	100.6%	100.8%	100.7%	100.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	41		41		10		41		50	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	41		41		10		41		50	
人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工	76	人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01	76	0.01		
嘱託	0		0	0	0		0			
合計コスト +	118		117		86		117		50	
前年度比	-		99.2%		73.1%		136.8%		-	



**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	畜犬登録事務
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	畜犬登録事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

狂犬病のまん延を防ぐことを目的とするもの。また、ペットの適正飼育についての啓発を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 狂犬病予防法に基づく畜犬の登録管理及び狂犬病予防注射を実施するもの。未登録犬や注射の未実施犬に対するの対応を行うもの
- 2 ペットの適正飼育について、指導及び広報誌等での啓発活動の実施
- 3 災害発生時のペットの同行避難を啓発するもの
- 4 令和元年度接種率 82%

< 現状に対する認識 >

- ・犬の登録率の向上、狂犬病予防注射の接種率向上に努める。
- ・保健所と連携を密にし、適正飼育の指導啓発を行う。
- ・災害時の避難マニュアルを関係機関と協議し、策定を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	狂犬病予防注射実施率				
指標の設定理由	犬の適正飼育の指標として				
目標値	90.0%	90.5%	91.0%	91.5%	92.0%
実績値	91.6%	90.5%	89.0%	82.0%	
達成度	101.8%	100.0%	97.8%	89.6%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,538		2,093		2,057		2,257		2,170	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,538		2,093		2,057		2,257			
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5,320	0.7		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	7,921		7,406		7,342		7,577		2,170	
前年度比	-		93.5%		99.1%		103.2%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	地域ねこ管理活動支援事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域ねこ管理活動支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地域で抱える飼い主のいない猫に起因する問題の解決と、保健所における猫の引取頭数及び殺処分頭数の減少を目的とするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 飼い主のいない猫の増加を防止し、市民の生活環境の保持及び動物愛護思想についての啓発を図るため、地域猫に去勢手術または不妊手術を受けさせるボランティア団体に対し、補助金を交付するもの
- 2 飼い主のいない猫の増加に伴うトラブルを減少させるため補助を交付するもの
- 3 令和元年度実績 ... オス52頭 メス93頭

< 現状に対する認識 >

・松本保健福祉事務所における猫の引取り及びの殺処分頭数は、年々減少しており、一定の効果が表れている。  
 ・猫に起因とする地域トラブルは、依然として多いため、指定地域が毎年追加されている。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	#REF!
-----	-----	----	-------	-----	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	#REF!	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	#REF!	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	433	#REF!	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど衛生的である(市民満足度調査)				
指標の設定理由	まちの公衆衛生に対する指標のため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2.95	-	2.94	-	-
達成度	98.3%	-	98.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,820	1,820	1,820	1,820	1,850
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,820	1,820	1,820	1,820	1,850
人件費(千円)	2,307	人工 2,277	人工 2,265	人工 2,265	人工
正規	2,307	0.3 2,277	0.3 2,265	0.3 2,265	0.3
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	4,127	4,097	4,085	4,085	1,850
前年度比	-	99.3%	99.7%	100.0%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(公衆浴場経営安定化事業)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公衆浴場の経営の安定化を促進し、公衆衛生の向上に資するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 公衆浴場業を営む9事業者で、経営の不安定な事業者の直接経営に要する経費に対し、補助を行うもの
- 2 営業日数を考慮した補助事業  
令和元年度実績 9浴場について補助
- 3 基幹設備及びふれあい施設の設備改善に対して行う補助事業  
(県からも補助)  
令和元年度実績 5浴場について補助

< 現状に対する認識 >

・住居環境の変化(浴槽設置)及び日帰り入浴施設の増加に伴い、入浴者が減少している。  
・公衆衛生の向上に資するため、経営が不安定な市内9浴場に対して、補助を継続していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,291		5,381		6,176		4,982		6,060	
国・県	2,306		1,353		1,751		1,158		1,695	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,985		4,028		4,425		3,824		4,365	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	9,598		7,658		8,441		7,262		6,060	
前年度比	-		79.8%		110.2%		86.0%		-	

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	管理不全空き家等対策
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	管理不全空き家等対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~

「松本市空き家等の適正管理に関する条例」及び「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、管理が不十分な空き家・空き地に対して、所有者等に適切な管理を促し、安全で安心な魅力あるまちづくりを進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 管理不全空き家等の適正管理助言・指導  
隣の空き家の草木が繁茂して困っているなどの相談を受け、空き家の所有者を探し、所有者等に対し適正な管理を促すための助言・指導をするもの  
管理不全な空家に対する、市民からの相談対応件数 52件  
のうち、草木の刈取り等、空き家の管理不全が解決した数 11件
- 所有者からの空き家の利活用、処分方法についての電話相談 (86件)

<現状に対する認識>

・空き家の所有者等に連絡が取れない、所有者が不明、相続人等の不在の案件が多く、対応に苦慮している。  
・平成31年3月に策定された松本市空家等対策計画により、他部局との連携、あるいは各種団体、専門家との連携を図り、総合的に進めることが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	相談対応件数(目標値)のうち、管理不全な空き家の所有者等に助言・指導等を実施した件数(実績値)				
指標の設定理由	対応が必要な空き家に対する適正管理指導の指標となるため。				
目標値	35	53	39	52	
実績値	35	53	38	45	
達成度	100.0%	100.0%	97.4%	86.5%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	45		40		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	45		40		0		0		0	
人件費(千円)	8,844	人工	8,729	人工	8,683	人工	8,844	人工	-	人工
正規	8,844	1.15	8,729	1.15	8,683	1.15	8,844	1.15		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,889		8,769		8,683		8,844		0	
前年度比	-		98.6%		99.0%		101.9%		0.0%	

事務事業評価票

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働を進める。また、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 年2回の「河川をきれいにする会」による18河川一斉清掃の支援。各河川の清掃や総会開催等の事務の補助をするもの
- 2 中心街を流れる女鳥羽川の清掃委託業務や堰清掃委託業務を行い、河川美化を行うもの
- 3 特定外来生物の周知及び駆除活動を行うもの
- 4 延べ参加人数 令和元年度実績 32,755人

< 現状に対する認識 >

・身近な河川の美化・浄化活動を推進するため、支援を継続していく。  
 ・高齢化に伴い参加者が減少しているなかで、高校や地元企業等に対し、活動を広くPRし、協力をお願いしていく。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	河川美化活動参加のべ人数				
指標の設定理由	河川美化・浄化活動の指標として				
目標値	29,000	30,000	31,000	32,000	32,300
実績値	28,920	24,723	25,981	32,755	
達成度	99.7%	82.4%	83.8%	102.4%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	4,934		4,274		4,362		4,578		4,600	
国・県	0		0		0					
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,934		4,274		4,362		4,578		4,600	
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5,320	0.7		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	10,317		9,587		9,647		9,898		4,600	
前年度比	-		92.9%		100.6%		102.6%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	葬祭センター管理運営
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	葬祭センター管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市営葬祭センターは、市内唯一の火葬場として、市民の火葬需要に応えるもの。  
施設運営は、指定管理体制を導入しているため、この関係事務を行うとともに、施設が正常に稼働するよう施設の改修、更新工事を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 遺体の火葬  
年間人体火葬件数 2,606件(死産児、胞衣を含む。)
- 2 動物(犬・猫等)の火葬  
動物火葬件数 1,360件
- 3 改修・補修工事  
火葬炉改修(4炉及び動物炉)  
火葬炉セラミック化(1炉)
- 4 指定管理者更新  
令和2年度～令和6年度の5年間の指定管理者の選定事務
- 5 現指定管理者概要  
商号等  
新潟県新潟市北区島見町3307番地16  
富士建設工業(株) 代表取締役 鳴海 利彦  
指定管理料  
108,356,386円

< 現状に対する認識 >

・市内の火葬需要には、ほぼ応えている。  
・また、指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。  
・施設維持管理も適正に行い、年末・年始の休業日以外は、保守点検等の時間を除き、火葬を休止することなく実施している。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	130,853		139,167		118,400		151,497		118,920	
国・県										
利用者負担金	35,678		35,643		33,831		33,003		34,810	
その他										
一般財源	95,175		103,524		84,569		118,494		84,110	
人件費(千円)	1,154	人工	1,518	人工	1,510	人工	2,280	人工		人工
正規	1,154	0.15	1,518	0.2	1,510	0.2	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	132,007		140,685		119,910		153,777		118,920	
前年度比	-		106.6%		85.2%		128.2%		-	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市営葬祭センター所在の町会に対して無償貸付を行っている公民館施設の管理運営に関するものを町会と協議しながら行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 消防施設点検 2回
2 借地料の支出 1回
3 その他 施設に関して不具合が生じたり、町会運営等の相談があった場合には、随時公民館に出向く。

< 現状に対する認識 >

葬祭センター所在の町会から施設運営に関し協力を得るうえでは欠かせない施設であり、現在町会との関係は良好である。
---

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,911		1,266		3,195		623		610	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,911		1,266		3,195		623		610	
人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工	1,133	人工	380	人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,133	0.15	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	5,065		2,405		4,328		1,003		610	
前年度比	-		47.5%		180.0%		23.2%		-	

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金(安曇野松筑広域環境施設組合)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

2市4村で共同処理を行っている一部事務組合所管の広域豊科葬祭センターの管理運営方針及び予算案を協議し、松本市負担金の支出を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 会議	
組合議会	3回
理事会	3回
担当課長会議	3回
2 会議の主な議題	
平成30年度決算	
令和元年度補正予算	
令和2年度当初予算	
条例制定	1件
条例改正	13件
規則改正	2件
3 広域豊科葬祭センターの松本市民利用実績	
人体火葬件数	188件
動物火葬件数	348件

<現状に対する認識>

・広域豊科葬祭センターは、松本市営葬祭センターを補完する施設として重要である。また、四賀地区は地理的条件で松本市営葬祭センターより近いため、特に利用者が多い。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	22,979		12,882		12,413		12,633		14,260	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,979		12,882		12,413		12,633		14,260	
人件費(千円)	1,923	人工	1,518	人工	1,888	人工	1,140	人工		人工
正規	1,923	0.25	1,518	0.2	1,888	0.25	1,140	0.15		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	24,902		14,400		14,301		13,773		14,260	
前年度比	-		57.8%		99.3%		96.3%		-	



**事務事業評価票**

事務事業名	公害対策関係
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公害対策関係費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁、大気汚染などの少ない、快適な生活環境の向上をめざすもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市内の河川や湖沼などの水質の調査 (36カ所)
- 市内の河川の水生生物を指標とした水質の調査(13カ所)
- 市内の地下水の水質を把握するための調査 (23カ所)
- 水質汚濁防止法に基づく事業場への立入り  
法に定められた事業場の排水が適正処理されているかどうかを確認し、必要な場合は改善指導等をするもの (立入り件数 102件)
- 中山地区産業廃棄物処理施設周辺環境調査  
廃棄物処理施設周辺で、大気や地下水を定期的に監視 (6カ所)
- ダイオキシン類調査  
焼却炉を持つ事業場の周辺での大気中のダイオキシン類調査 (3地区 10カ所)
- 道路沿線、長野道沿線での騒音調査 (11カ所)
- 放射性物質濃度測定調査  
市立小学校の校庭の土壌と、井戸水の放射性物質濃度を測定 (28校、井戸5カ所)

< 現状に対する認識 >

・法令等に基づく事業場への立入調査などを行ってきたこともあり、良好な水・大気環境が保たれ、騒音などによる公害苦情件数も減少傾向にある。  
・引続き、この生活環境を維持していくことが重要。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市内河川33カ所におけるBOD2mg/L未満の箇所の割合(%)				
指標の設定理由	2mg/Lが一般的にきれいな水の目安であるため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標(指標名)	一般大気環境基準達成率(二酸化硫黄・二酸化窒素)(%)				
指標の設定理由	行政の目標として国が環境基準を設定しているため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	15,771		14,392		14,858		14,536		15,200	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	15,771		14,392		14,858		14,536			
人件費(千円)	26,531	人工	26,186	人工	26,048	人工	26,531	人工		人工
正規	26,531	3.45	26,186	3.45	26,048	3.45	26,531	3.45		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	42,302		40,578		40,906		41,067		15,200	
前年度比	-		95.9%		100.8%		100.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	公衆便所管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公衆便所管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公共福祉の増進を図るため、公衆便所を適正に管理する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 公衆便所管理事業  
環境保全課が管理する公衆トイレ(33カ所)の清掃、点検を行い、市民が利用しやすいように清潔に保つもの。
- 2 公衆便所整備事業  
環境保全課が管理する公衆トイレについて「安心」「快適」「親しみ」を基本方針に公衆便所を整備するもの。
- 3 委託先  
ゼンコウ総業㈱  
シルバー人材センター  
地元団体
- 4 契約金額  
9,094,946円

< 現状に対する認識 >

・今後も既存の公衆トイレを利用しやすく維持管理を行っていく。  
・外国人観光客の増加等に伴い、洋式化やユニバーサルデザイン化を検討していく。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど衛生的である(市民満足度調査)				
指標の設定理由	まちの公衆衛生に対する指標のため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2.95	-	2.94	-	-
達成度	98.3%	-	98.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	19,190		14,430		14,293		14,039		15,240	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	19,190		14,430		14,293		14,039		15,240	
人件費(千円)	3,619	人工	3,649	人工	3,705	人工	3,740	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	22,809		18,079		17,998		17,779		15,240	
前年度比	-		79.3%		99.6%		98.8%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	生物多様性保全事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	生物多様性保全事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～

生きものの恵みを将来世代も受け取れるよう、松本市生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」の基本方針である「学習し、広める」「想像し、考える」「実践し、活かす」に沿って生物多様性の保全を推進し、多様な環境に育まれた、生きものあふれる豊かな自然の維持と再生をめざすもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 啓発事業**  
 自然と触れ合いながら生物多様性について学び、生物多様性の保全に対する関心を高めてもらうため、生物多様性地域戦略講座をエコスクール事業と共同で開催し、夏休みの時期を中心に、小中学生親子を対象に、事前学習会を含めて環境学習会、自然観察会を開催(5回 延べ103人参加)
- ゴマシジミ保護回復事業**  
 国内希少野生動植物種に指定され、地元も保護活動に積極的な奈川地区のシンボルでもあるゴマシジミを保護するもの。  
 市民調査員による生息状況調査を行った(8～9月)。
- 生物多様性モニタリング調査**  
 生物多様性保全事業に関する指標とするため、地点を定めて継続的に生物調査を行うもの。令和元年度は乗鞍高原一の瀬園地で植物相を調査
- 市民参加型環境調査**  
 調査をとおして生き物に興味を持ってもらい、市民が生物多様性について考えるきっかけとなることをねらいとして実施するもの。  
 令和元年度は「市民トンボ調査」(報告者67人)を実施

< 現状に対する認識 >

本市には、様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成されてきたが、そうした「生物多様性」が、急速に失われつつある。  
 ・市民一人ひとりが生物多様性の重要性を認識し、豊かな自然を将来世代に引き継いでいくことが課題。  
 ・上記課題解決に向け、生物多様性を主流化するため、市民参加型環境調査等の4事業を実施している。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	423	生物多様性保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み		生物の多様性を考慮した自然環境の保全
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<b>成果指標(指標名)</b>	生物多様性の保全活動への参加人数				
指標の設定理由	生物多様性保全の重要性を理解し、実践することにつながるため。				
目標値	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
実績値	7,516	6,159	7,369	9,354	
達成度	123.2%	101.0%	120.8%	153.3%	0.0%
<b>成果指標(指標名)</b>	希少種保護活動への支援箇所数				
指標の設定理由	支援することにより、希少種の保護回復が望めるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
<b>事業費(千円)</b>	98	1,062	994	846	1,040					
国・県		796	745	633						
利用者負担金										
その他										
一般財源	98	266	249	213	1,040					
<b>人件費(千円)</b>	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,614	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,614	0.6		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	4,712	5,616	5,524	5,460	1,040					
前年度比	-	119.2%	98.4%	98.8%	-					

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	し尿収集業務
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿収集業務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

し尿汲取りを適正に行い快適な生活環境を支援するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	清掃確認券発行事業 清掃確認券を用いて、業者による適正なし尿汲取りを管理するもの (汲取り場所、汲取り氏名が記入された回数券) 令和元年度実績 803件
2	し尿汲取料金補助事業 生活保護世帯や障害者世帯など、生活困窮者に対し汲取料金を全額補助 するもの 令和元年度実績 31世帯

< 現状に対する認識 >

・適正なし尿汲取りを行うため、今後も事業を継続していく。

総合評価

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和元2年度	
事業費(千円)	926		730		835		681		800	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	926		730		835		681		800	
人件費(千円)	154	人工	152	人工	151	人工	152	人工		人工
正規	154	0.02	152	0.02	151	0.02	152	0.02		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,080		882		986		833		800	
前年度比	-		81.7%		111.8%		84.5%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	松本地区霊園管理
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	松本地区霊園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

中山霊園、蟻ヶ崎霊園及び並柳霊園の墓所管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	管理する墓所数	
	中山霊園	
	ア 一般墓所	9, 1 2 9 区画
	イ 合葬式墳墓(屋内型)	1 施設
	ウ 合葬式墳墓(屋外型樹木葬)	1 施設
	蟻ヶ崎霊園 一般墓所	2, 4 4 5 区画
	並柳霊園 一般墓所	4 8 2 区画
2	指定管理者更新	
	令和2年度~令和6年度の5年間の指定管理者の選定事務	
3	現指定管理者概要	
	商号等	
	松本市大字島内1259番地137	
	(株)信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸	
	指定管理料	
	31,200,612円	

< 現状に対する認識 >

指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	一般墓所使用申請数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値	97	138	191	241	291
実績値	119	47	88	69	
達成度	122.7%	34.1%	46.1%	28.6%	-
成果指標(指標名)	合葬式墳墓使用申請数				
指標の設定理由	新たな墓地形態として注目を集めている墓所の収入のため				
目標値	570	627	684	741	800
実績値	678	901	1,084	1,280	
達成度	118.9%	143.7%	158.5%	172.7%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	39,696	39,696	47,070	46,129	47,550					
国・県										
利用者負担金	39,696	39,696	47,070	46,129	47,550					
その他										
一般財源										
人件費(千円)	4,383	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	4,383	0.57	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	44,079	43,491	50,845	49,929	47,550					
前年度比	-	98.7%	116.9%	98.2%	-					

事務事業評価票

事務事業名	西部地区霊園管理
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	西部地区霊園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

合併地区(奈川、梓川、波田地区)霊園の墓所管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

管理する墓所数

1	奈川地区		
	奈川霊園	一般墓所	116区画
2	梓川地区		
	あずさがわ霊園	一般墓所	206区画
	上野霊園	一般墓所	125区画
	横沢霊園	一般墓所	13区画
3	波田地区		
	さみぞ霊園	一般墓所	173区画
	下原霊園	一般墓所	368区画
	つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画

< 現状に対する認識 >

・奈川霊園などの遠隔地の効率的な管理のため、指定管理者制度導入を検討している。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	一般墓所貸付件数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値	19	29	42	55	68
実績値	16	32	13	14	
達成度	84.2%	110.3%	31.0%	25.5%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,078	2,143	2,580	2,532	2,620
国・県					
利用者負担金	2,078	2,143	2,580	2,532	2,620
その他					
一般財源					
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
合計コスト +	2,847	2,902	3,335	3,292	2,620
前年度比	-	101.9%	114.9%	98.7%	-

# 事務事業評価票

事務事業名	合葬式墳墓整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	合葬式墓地整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

中山霊園に墓所の新たな形態となる合葬式墳墓を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 屋内型埋蔵場所受入可能件数  
 個別埋蔵 800件  
 共同埋蔵 800件 計 1,600件  
 平成23年度に既存建物を改修し、平成24年度に各400件受入可能な施設整備  
 平成29年度に共同埋蔵場所を400件分増設  
 令和元年度に個別埋蔵場所を400件分増設  
 令和元年度に共同埋蔵場所の埋蔵数の見直しを行い、受入数400体分増加
- 屋外型埋蔵場所受入可能件数  
 樹木式埋蔵 960件  
 平成29年度に新たに960件受入可能な施設整備
- 主な改修工事等  
 個別埋蔵場所増設工事  
 屋外型墓誌増設工事  
 屋外型注意看板設置工事

< 現状に対する認識 >

・市民需要を把握しながら、さらに施設増設を具体化する時期に来ている。  
 ・要望の多い屋外型樹木式埋蔵場所の生前申請を令和2年度から開始し、より市民要望に応えられている。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	屋内型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	800	1,200	1,200	1,200	1,200
実績値	800	1,200	1,200	1,200	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	屋外型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	0	960	960	960	960
実績値	0	960	960	960	
達成度	-	100.0%	100.0%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,558	16,713	1,296	3,354	3,800
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,558	16,713	1,296	3,354	3,800
人件費(千円)	3,076	人工 3,795	人工 755	人工 760	人工
正規	3,076	0.4	3,795	0.5	755
嘱託	0	0	0	0	760
合計コスト +	7,634	20,508	2,051	4,114	3,800
前年度比	-	268.6%	10.0%	200.6%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	墓地管理台帳整備事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓地管理台帳整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市営霊園10カ所の霊園の使用者情報を管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 墓地管理台帳システムのリース料及び通信回線支出(毎月)
- 2 新システムに移行するための打合せ、導入事務(4月~9月)
- 3 新システム検収事務(10月~3月)
- 4 令和2年度からの保守点検委託業務締結事務(2、3月)

<現状に対する認識>

・年度前半で新システムに移行し、年度後半で検収を実施することで正常稼働を確認できた。  
 ・より使い勝手がよいシステムとなるよう、さらに開発業者と綿密な打合せを実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市内10霊園の貸付数				
指標の設定理由	使用者情報を管理する元になるため				
目標値					
実績値	13,019	13,025	13,067	13,075	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	760		760		745		6,723		1,710	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	760		760		745		6,723		1,710	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	2,416	人工	2,432	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	2,416	0.32	2,432	0.32		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,145		1,140		3,161		9,155		1,710	
前年度比	-		99.6%		277.4%		289.6%		-	



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	不明墓所整理事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	不明墓所整理事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市営霊園10カ所の使用者が不明となった者の戸籍等の調査を行い、親族等承継者が判明した場合には、承継手続きをしてもらい、不明墓所になることを防止するもの。  
承継者がいない、不明等の場合には無縁墳墓と確定する手続を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	霊園使用者承継	370件
	市営霊園の祭祀の承継の届出を受けた件数	
2	無縁墳墓認定のための看板設置	4件
	無縁墳墓に認定するために法で規定された手続をした件数	
3	無縁墳墓認定	6件
	上記2の結果、無縁墳墓に認定した墓所の件数	
4	承継等の意思を示さない者の現地調査	9件
	東京都、神奈川県の関係者を訪問した件数	

< 現状に対する認識 >

不明墓所を生まないため、戸籍調査等に努めており、現状では最低限に抑えていると思われる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	霊園承継届提出件数				
指標の設定理由	不明墓所とならず新たな者に承継された墓所の指標となるため				
目標値					
実績値	337	326	388	370	
達成度					
成果指標(指標名)	無縁墳墓認定件数				
指標の設定理由	無縁墳墓となった墓所数が客観的にわかる指標のため				
目標値					
実績値	19	6	1	6	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	38	37	55	78	220
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	38	37	55	78	220
人件費(千円)	2,850	2,890	2,950	2,980	
正規	0	0	0	0	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
	1	1	1	1	
合計コスト +	2,888	2,927	3,005	3,058	220
前年度比	-	101.4%	102.7%	101.8%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	特定地域生活排水事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	松本版総合戦略	5つの重点目標

< 予算上の位置付け >

会計名	地域排水施設
予算中事業名	特定地域生活排水事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

四賀地域の生活環境整備を図ること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 四賀戸別合併処理浄化槽維持管理及び清掃事業  
浄化槽市町村整備事業(設置主体:市)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行う。
- 特別会計であるため、事業の健全化に努める。
- 平成28年度に「松本市地域排水施設事業経営戦略」を策定し、中長期にわたり、経営の安定化を図った。5年後に見直し予定
- 設置基数  
1,152基
- 管理基数  
1,040基(令和2年3月末)

< 現状に対する認識 >

汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	維持管理回数				
指標の設定理由	維持管理回数の頻度を維持することにより、汚水処理を適正に行うため。				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	4	4	4	4	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	55,830		55,790		55,925		57,526		58,470	
国・県										
利用者負担金	44,206		44,270		43,458		44,283		44,700	
その他										
一般財源	11,624		11,520		12,467		13,243		13,770	
人件費(千円)	3,691	人工	3,643	人工	3,624	人工	3,648	人工		人工
正規	3,691	0.48	3,643	0.48	3,624	0.48	3,648	0.48		
嘱託	0		0		0	0	0			
合計コスト +	59,521		59,433		59,549		61,174		58,470	
前年度比	-		99.9%		100.2%		102.7%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	事務管理(島内小公園管理)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

環境改善事業で整備した公園であり、周辺住民の憩いの場とするため管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業実施内容  
 光熱水費、土地借上料の支出  
 冬季のトイレ閉鎖  
 遊具の点検  
 樹木伐採

2 公園の概要  
 通称 島内小公園(ひまわり公園)  
 島内町・北方町会境界付近は、墓地と荒地が点在していたため、生活環境向上を目指し、環境改善事業の県補助金を取り込み、H6・7の2年間で公園整備をしたもの  
 面積 1,375.10㎡  
 ア 借地 912.58㎡  
 イ 市有地 462.52㎡(「公募上面積520㎡」)  
 地番 市有地 島内6047-1、6047-口、6455  
 事業費 23,341,993円  
 財源  
 ア 県補助金 400,000円  
 イ 一般財源 22,941,993円

< 現状に対する認識 >

・立地上利用者が限られるが、地区にとっては必要な公園のため、適正な管理に努める。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公園水道使用量				
指標の設定理由	利用者数の把握は困難であるため、トイレ、散水などに利用した水量から利用状況を推測できるため				
目標値					
実績値	4	30	34	95	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	469	950	472	1,064	520
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	469	950	472	1,064	520
人件費(千円)	154	380	378	380	
正規	154	0.02	380	0.05	380
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	623	1,330	850	1,444	520
前年度比	-	213.5%	63.9%	170.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	マレットゴルフ場整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	マレットゴルフ場整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

中山霊園に整備したマレットゴルフ場27コースの整備、管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 コース改修工事 7ホールの整地等 11ヵ所のホールアクセス通路の手すり、階段補修
2 現指定管理者概要 商号等 松本市大字島内1259番地137 (株)信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸 目的 造園の設計施工業務 地方自治法に基づく指定管理者制度による公の施設の管理及び運営

< 現状に対する認識 >

・地元利用団体と連絡を密に取りながら管理を行う。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画の成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	648		0		1,231		1,048		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	648		0		1,231		1,048			
人件費(千円)	385	人工	228	人工	227	人工	228	人工		人工
正規	385	0.05	228	0.03	227	0.03	228	0.03		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,033		228		1,458		1,276		0	
前年度比	-		22.1%		640.1%		87.5%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	中山霊園第3次造成事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園第3次造成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

新たに墓所区画を必要とする方のために、平成13年度から着手した第3次造成地に2,178区画の墓所を整備し貸付けするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 中山霊園第3次造成事業の概要  
 中山霊園は、平成15年度までに第2次造成事業地の造成が終了する見込みだったが、さらに市民の墓地需要が旺盛であったことから、平成13年度から第3次造成事業に着手したもの  
 平成13年度～平成19年度 用地取得  
 平成18年度～平成20年度 起債借入  
 平成18年度～平成30年度 起債償還  
 平成19年度～ 墓所区画造成工事  
 平成20年度～ 墓所区画貸付け
- 墓所区画造成工事  
 35区画
- 区画募集広告記事掲載  
 市民タイムス 1回  
 MGプレス 1回 計2回

< 現状に対する認識 >

一般墓所区画に対する需要を把握しながら計画的に造成を継続する。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	中山霊園一般墓所区画数					
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため					
目標値	9,043	9,103	9,163	9,223	9,283	
実績値	9,043	9,043	9,094	9,034		
達成度	100.0%	99.3%	99.2%	98.0%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	130	0	8,856	7,885	9,680					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	130		8,856	7,885	9,680					
人件費(千円)	769	人工	607	人工	1,133	人工	1,140	人工		人工
正規	769	0.1	607	0.08	1,133	0.15	1,140	0.15		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	899		607		9,989		9,025		9,680	
前年度比	-		67.5%		1645.0%		90.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	墓所補修整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	墓所補修整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市営墓地10カ所の補修が必要な箇所について、補修を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 補修工事箇所
中山霊園
ア 松枯れ樹木伐採
イ 管理事務所前舗装
ウ 参道舗装切れ目補修
エ 入口支障木伐採
オ 第3次造成地多目的ルーム前舗装
並柳霊園
ア 墓所脇斜面土留め設置
イ 参道崩落場所補修
蟻ヶ崎霊園
ア 参道幅拡張
つつじヶ丘霊園
ア 階段補修
イ 樹木伐採及び植栽

< 現状に対する認識 >

指定管理者(松本地区)、管理業務委託業者(西部地区)との綿密な情報交換を行い、補修必要箇所を適正に把握している。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画の成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度			達成	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,497		1,242		3,294		5,155		8,700	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,497		1,242		3,294		5,155		8,700	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	1,133	人工	1,140	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	1,133	0.15	1,140	0.15		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,266		2,001		4,427		6,295		8,700	
前年度比	-		88.3%		221.2%		142.2%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	中山霊園ユニバーサルデザイン 化事業
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園ユニバーサルデザイン化事業

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度 H22 ~ R3

中山霊園の利用者が、誰でも負担を感じることなく参拝できるようにするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	中山霊園ユニバーサルデザイン化事業の概要
	平成22年度 中山霊園ユニバーサルデザイン化事業計画策定
	平成23年度 第一次造成地手すり設置
	平成24.26.27年度 給水管改修、水汲み場増設
	平成26.27年度 トイレ改修
	経営状況悪化のため平成28~30年度は事業休止。
	令和元年度 給水管改修及び給水所設備
	令和2年度 第二・三次造成地手すり設置
	令和3年度 第一・二次造成地管理用通路の拡幅及び舗装
2	給水管改修及び給水所設備工事
	給水管改修 約1,300m
	水汲み場 新設10ヵ所
	水汲み場 改修10ヵ所

< 現状に対する認識 >

ハード、ソフト両面から参拝環境の整備を推進する必要がある。
-------------------------------

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度			達成		
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	12,650	26,050
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				12,650	26,050
人件費(千円)	0	人工	0	人工	760
正規	0	0	0	760	0.1
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	13,410	26,050
前年度比	-	-	-	-	-

# 環境業務課

課長 百瀬 今朝和



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の快適な生活環境を維持するため、市民の環境美化意識の高揚を図り、環境の美化に努めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

「松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例」や環境衛生協議会を通じて、ポイ捨て防止活動や環境美化活動を推進する。  
不法投棄を防止するため看板及びフェンスの設置を行うとともに、不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を行う。

1 令和元年度環境美化巡視委員数 496名

2 啓発運動

ごみゼロ運動(開催日:5月26日、参加者:420名)

散乱空き缶等追放キャンペーン

(開催日:10月26日、参加者:279名)

啓発運動でのごみ処理量 70kg

3 不法投棄パトロール数 196回

4 不法投棄回収量 8.3t

< 現状に対する認識 >

・市街地のごみの散乱は少なく、良い評価を得ている。  
・不法投棄の処理量は横ばいとなっており、特に河川敷等のポイ捨てが目立つ。  
・不法投棄パトロールの実施と、町会と連携し「不法投棄防止フェンス」や「不法投棄禁止看板」の設置を行い、対応を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	58,658	53,345	53,313	52,678	62,050
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	58,658	53,345	53,313	52,678	62,050
人件費(千円)	88,784	人工 91,871	人工 87,665	人工 88,278	人工
正規	77,669	10.1 83,490	11 78,520	10.4 79,040	10.4
嘱託	11,115	3.9 8,381	2.9 9,145	3.1 9,238	3.1
合計コスト +	147,442	145,216	140,978	140,956	62,050
前年度比	-	98.5%	97.1%	100.0%	-

**事務事業評価票**

事務事業名	清掃業務管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

循環型社会の構築を目指し、ごみを5分別25区分に分別し資源化を推進しているため、市民がごみ・資源物を適正に排出できるよう、周知・啓発を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

ごみ・資源物が適正に排出されるよう、市民へ「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」を配布するとともに、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信を行い、周知・啓発を行う。

- 「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」  
 収集地区  
 市内35地区を46区域に分けて収集を実施  
 分別区分  
 5分別25区分  
 印刷部数  
 ア ごみ・資源物の分け方・出し方: 115,000枚  
 イ ごみ・資源物の収集日程表: 126,500枚
- ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信  
 登録件数 13,200件  
 対応する外国語 英語、中国語、韓国語、フィリピン語、スペイン語  
 ポルトガル語、タイ語、ベトナム語

< 現状に対する認識 >

「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」は町会へ加入している市民には町会を通して配布されるが、町会に加入していない市民や外国人の方へのどのように情報を提供するかが課題となっている。対応として各地区の地域づくりセンターへ予備分を配置している。課題解決策について地域づくり課と連携し、町会に加入してもらうように勧める。  
 ・平成29年7月からごみ分別アプリを導入し、ごみ分別等の情報を配信している。アプリは8カ国語に対応。課題となっている外国人の方への周知に活用し、ごみ処理に関する様々な情報を積極的に配信し、ごみの減量・適正処理につなげていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,677	84,618
実績値	91,793	89,793	88,318	89,538	
達成度	97.3%	96.7%	100.0%	96.8%	
成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(g)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980
実績値	1,042	1,039	1,009	1,024	
達成度	98.4%	96.2%	100.3%	97.3%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	9,569	5,116	4,896	4,706	4,960
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,569	5,116	4,896	4,706	4,960
人件費(千円)	23,613	人工 23,383	人工 22,745	人工 22,904	人工
正規	20,763	2.7 20,493	2.7 20,385	2.7 20,520	2.7
嘱託	2,850	1 2,890	1 2,360	0.8 2,384	0.8
合計コスト +	33,182	28,499	27,641	27,610	4,960
前年度比	-	85.9%	97.0%	99.9%	-

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	塵芥収集業務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥収集業務

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の快適な生活環境を維持するため、一般廃棄物(家庭系ごみ)の収集を行うとともに、町会で管理するごみステーションの建設に対して補助を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 可燃・不燃ごみ等の収集運搬
収集業務割合
委託:92%、直営:8%
収集対象
ア 可燃ごみ
イ 容器包装プラスチック
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ)
エ 蛍光管・乾電池
オ 小型家電
カ スプレー缶・ライター
区分別に収集するごみステーション数
ア 可燃ごみ 2,587カ所(±0)
イ 容器包装プラスチック 1,796カ所(+10)
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ) 1,783カ所(+10)
エ 資源物 1,166カ所(+4)
2 ごみステーション建設費補助
補助件数 11件、補助金額 1,463千円

< 現状に対する認識 >

・家庭系ごみの排出量は近年減少傾向にあったが、令和元年度は増加に転じた。  
 ・引き続きごみの排出環境の整備・適正処理に努めるとともに、ごみの減量に係る施策をあわせて実施する。 具体的な減量施策(「残さず食べよう!30・10運動」、生ごみの水切りキャンペーン等の実施)

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	家庭系ごみ収集量(t)				
指標の設定理由	市が収集する家庭系ごみ量が把握できるため				
目標値	33,583	32,561	38,977	38,704	38,222
実績値	39,709	39,122	38,364	38,843	
達成度	84.6%	83.2%	101.6%	99.6%	-
成果指標(指標名)	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(g)				
指標の設定理由	他の自治体の状況と比較が容易であるため				
目標値	385	375	447	445	443
実績値	458	453	439	444	
達成度	84.1%	82.8%	101.8%	100.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	328,881	325,575	321,251	327,112	324,510
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	328,881	325,575	321,251	327,112	324,510
人件費(千円)	113,871	117,175	97,940	98,620	
正規	110,736	116,886	89,090	89,680	
嘱託	3,135	289	8,850	8,940	
人工	14.4	15.4	11.8	11.8	
人工	1.1	0.1	3.0	3	
合計コスト +	442,752	442,750	419,191	425,732	324,510
前年度比	-	100.0%	94.7%	101.6%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市一般廃棄物処理計画に基づき、ごみの排出実態を的確に把握し、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理の推進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 家庭系・事業系可燃ごみの組成及び食品ロス調査の実施  
家庭系可燃ごみ:一定数量のリサイクル可能な紙類・プラスチック類が混入  
事業系可燃ごみ:一定数量の産業廃棄物(特にプラスチック類)が混入  
食品ロス量:昨年度と比較して、家庭系は減少、事業系は全ての業態で増加
- 事業系ごみの減量の推進  
事業所への廃棄物の適正排出指導(100社)  
事業系ごみの分け方・出し方の配布(配布部数:120件)
- 資源物の収集運搬に係る事務  
品目:金属類、紙類、布類、びん類、ペットボトル、小型家電、廃食用油
- 資源物の排出環境の整備  
松本市リサイクルセンターの運営  
紙類常設回収場所の設置(32カ所)  
資源物集団回収実施団体への助成(回収量:1,688トン)  
有価資源物リサイクル事業を実施した町会への助成(回収量:4,068トン)
- 生ごみ等の再資源化の推進  
ごみ減量機器購入補助(106件)  
生ごみ堆肥化講習会の開催(6回)
- 生ごみの水切り袋の作成・配布  
学都フォーラム、消費生活展、出前講座にて配布(配布枚数:1,000枚)

< 現状に対する認識 >

・民間事業者による資源物回収ボックスの設置が多くなり、市として回収する資源物量が減少し、市で把握しているリサイクル率は低下している。  
・市が行う資源物のステーション回収を安定的に実施するためには町会の協力が不可欠であるが、今後も協力を得るためには町会への助成に直結する町会ステーション回収量を維持する必要がある。 具体的な対策について、市環境衛生協議会連合会や出前講座等でステーションへ出すように強く依頼していく。市広報紙でもPRしていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの減量を目的とした事業であるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,777	84,618
実績値	91,793	89,793	88,318	89,538	
達成度	97.3%	96.7%	100.0%	96.9%	-
成果指標(指標名)	リサイクル率(%)				
指標の設定理由	資源物の収集量の指標となるもの				
目標値	26.5	28.2	12.0	12.0	12.0
実績値	11.9	11.2	10.7	10.6	
達成度	44.9%	39.7%	89.2%	88.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	183,882	180,624	180,037	197,057	208,120
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	183,882	180,624	180,037	197,057	208,120
人件費(千円)	26,888	25,841	37,385	37,642	
正規	24,608	23,529	34,730	34,960	
嘱託	2,280	2,312	2,655	2,682	
合計コスト +	210,770	206,465	217,422	234,699	208,120
前年度比	-	98.0%	105.3%	107.9%	-

**事務事業評価票**

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業
-------	------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

ごみ処理関連施設(エコトピア山田、松本クリーンセンター)周辺の環境整備を行うとともに、事業に関連するその他の市施設の保守点検・改修等の維持管理を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 施設整備事業
  - エコトピア山田周辺環境整備
  - ア エコトピア山田東側斜面樹木伐採工事
  - イ 桜街道関連工事(雑木伐採、路肩整備)
- 2 周辺環境整備支援事業
  - 最終処分場周辺住民が行う環境保全、環境整備などの活動に対する支援
- 3 公民館等維持管理
  - 山田公民館トイレ改修工事
  - 山田公民館蟻害箇所改修工事

< 現状に対する認識 >

・ごみ関連施設は見学や視察が多いため、イメージアップとなるよう、周辺の環境整備が求められている。施設周辺住民と協力し、環境整備を実施する必要がある。  
 ・市が建設した公民館が経年により修繕が必要となっているため、計画的に修繕を実施する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		38,511		6,145		9,862		5,940	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		38,511		6,145		9,862		5,940	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	11,915	人工	11,996	人工		人工
正規	7,690	1.0	7,590	1.0	11,325	1.5	11,400	1.5		
嘱託	0		0		590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	7,690		46,101		18,060		21,858		5,940	
前年度比	-		599.5%		39.2%		121.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	塵芥埋立処理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥埋立処理費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

一般廃棄物最終処分場の適正な管理運営を行い、安定的な廃棄物の処理を行うとともに、周辺の環境負荷の軽減を図る。また、最終処分場の延命化を図るため、焼却灰と飛灰の資源化及び市外の最終処分場へ処分を委託するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 最終処分場管理運営事業
  - 埋立作業
  - 施設維持管理業務
  - 水質検査等環境調査
- 灰資源化・処分事業
  - 松本クリーンセンターから排出される焼却灰及び飛灰を委託処理により資源化等を行う。
    - 焼却灰
      - ア 資源化
        - 1,475トン(焼成(埼玉県、三重県)、溶融(茨城県、栃木県、愛知県))
      - 飛灰
        - ア 資源化
          - 639トン(焼成(埼玉県)、溶融(愛知県))
        - イ 委託埋立
          - 2,825トン(三重県、秋田県)

< 現状に対する認識 >

・エコピア山田は再整備方針が決定し、令和2年度末をもって、廃棄物の埋め立てを終了する。それまでの間も適正な管理運営を行い、安定的な廃棄物の処理を行う。  
 ・最終処分場の延命化を目的として焼却灰等の委託処理を行ってきたが、令和3年度以降の再整備期間中は市内における処分が行えないことから、現状の処理先に加え、新たな処理委託先を検討し、引き続き安定的に処理を行う必要がある。(委託処理に関する事業は、エコピア山田再整備事業で実施)

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	灰資源化量(t)				
指標の設定理由	最終処分場の負荷を軽減するための灰資源化の実績を示すため				
目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
実績値	1,950	2,047	2,221	2,114	
達成度	102.6%	107.7%	116.9%	111.3%	-
成果指標(指標名)	一般廃棄物処分場への灰埋立量(t)				
指標の設定理由	市内最終処分場への埋立て実績を示すため				
目標値	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
実績値	5,869	5,704	5,337	5,750	
達成度	98.0%	100.8%	107.7%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	293,939	226,920	223,276	218,899	55,410
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	293,939	226,920	223,276	218,899	55,410
人件費(千円)	29,566	30,792	32,490	34,244	
正規	26,146	27,324	27,180	28,880	
嘱託	3,420	3,468	5,310	5,364	
合計コスト +	323,505	257,712	255,766	253,143	55,410
前年度比	-	79.7%	99.2%	99.0%	-

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	し尿処理業務
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿処理業務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

水洗化ができない地域にある市営施設等の環境を維持するため、し尿の収集運搬を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

主に運動公園等の外便所や文化財発掘現場など、水洗化されていない市管理施設等のし尿収集を実施する。

1 汲取り実施箇所 12箇所

< 現状に対する認識 >

水洗化できない市管理施設等に対応するため、パキューム車を保有し、継続していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	38		38		33		31		60	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		38		33		31		60	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,576		1,556		1,543		1,551		60	
前年度比	-		98.7%		99.2%		100.5%		-	

**事務事業評価票**

事務事業名	エコトピア山田再整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	エコトピア山田再整備事業費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元 ~ R7

エコトピア山田の今後の長期使用に向けて、より安全な施設とするため、現在の埋立地を再整備し、一般廃棄物の安定的な処理を行うもの。  
また、現在、エコトピア山田で処理・処分している一般廃棄物を、再整備期間中は民間業者に全量委託を行い、引き続き安定的な処理を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 エコトピア山田再整備事業
環境省交付金を活用するため、循環型社会形成推進地域計画を策定再整備を行う上で、現状の課題を整理するため、既存廃棄物調査、貯留構造物耐震性能照査を実施
現処分場の廃止手続きに必要となる、外周水路付替え工事の詳細設計を実施
2 エコトピア山田再整備事業に伴う一般廃棄物処理事業
令和3年度以降、再整備期間中に一般廃棄物の処理を委託する民間事業者の候補先を視察
視察先: 7カ所

< 現状に対する認識 >

・令和2年度には、再整備全体基本計画を策定し、令和8年度の新処分場供用開始に向けて、着実に事業を進めていく必要がある。  
・再整備事業に対する施設周辺住民の理解を得るために、地区で課題となっている地域の活性化に対して、市として取り組む必要がある。  
・最終処分場の延命化を目的として焼却灰等の委託処理を行ってきたが、令和3年度以降の再整備期間中は市内における処分が行えないことから、現状の処理先に加え、新たな処理委託先を検討し、引き続き安定的に処理を行う必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	一般廃棄物処分場への灰埋立量(t)				
指標の設定理由	市内最終処分場への埋立て実績を示すため				
目標値	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
実績値	5,869	5,704	5,337	5,750	
達成度	102.1%	99.2%	92.8%	100.0%	-
成果指標(指標名)	灰資源化量(t)				
指標の設定理由	最終処分場の負荷を軽減するための灰資源化の実績を示すため				
目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
実績値	1,950	2,047	2,221	2,114	
達成度	102.6%	107.7%	116.9%	111.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)				41,719	255,190
国・県					14,920
利用者負担金					
その他					
一般財源				41,719	240,270
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				6,080	0.8
嘱託				0	0
合計コスト +	0	0	0	47,799	255,190
前年度比	-	-	-	-	-